

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 六ヶ所村

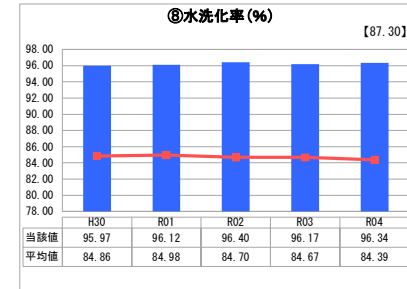
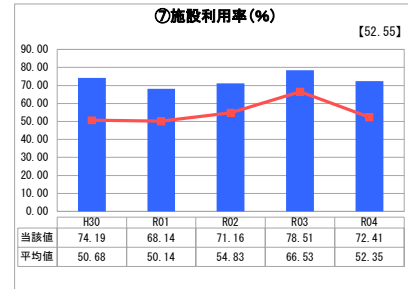
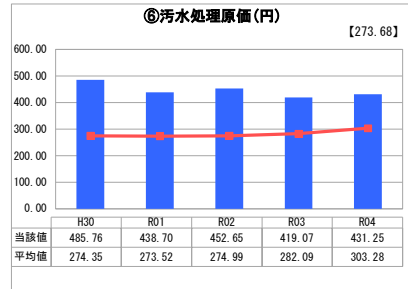
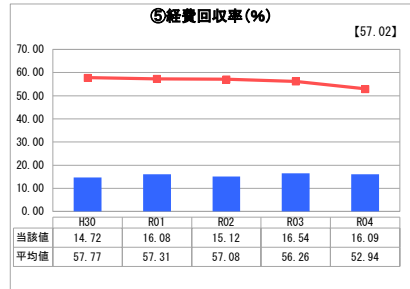
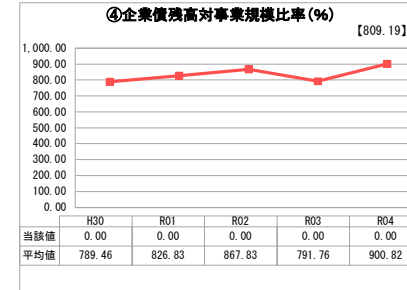
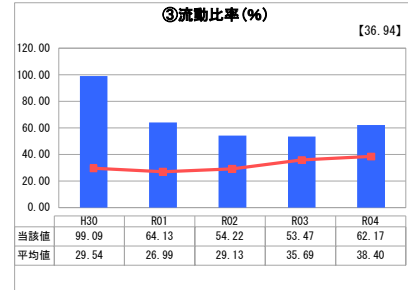
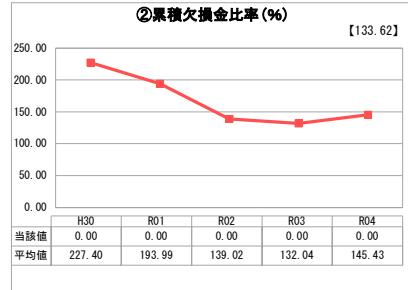
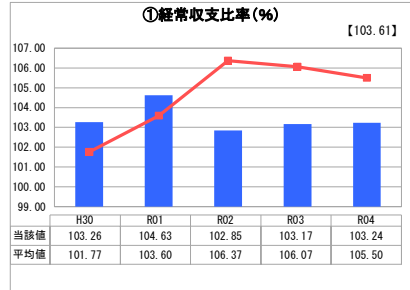
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	81.57	7.23	84.30	1,397

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,886	252.58	39.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
711	0.97	732.99

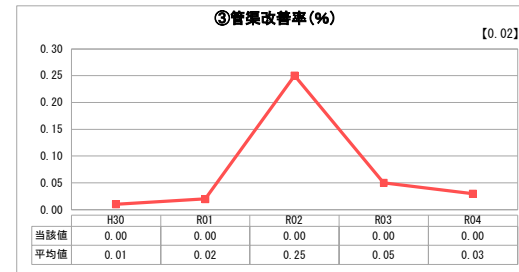
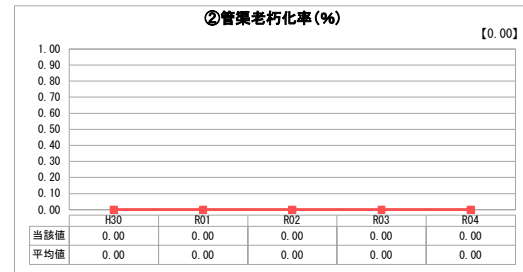
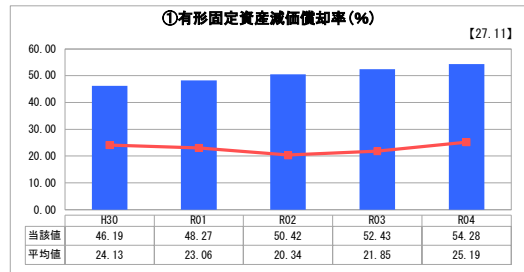
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているものの、経費回収率は20%程度で推移しており、使用料によって必要経費を賄えていない状況である。そのため一般会計からの繰入金に頼っている。経常収支比率が前年度から減となった理由は、収支不足に合わせて一般会計からの繰入を行ったためである。

水洗化率は高い水準となっているものの、汚水処理原価は類似団体と比較し、高額となっているため、ストックマネジメント計画などにより、効率的な施設運営を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始は平成6年からであり、管渠・施設の老朽化による更新は行っていない、しかし、農業集落排水処理施設を公共下水道施設へ接続し統合を行っている。

有形固定資産原価償却率が類似団体と比較して高い水準で推移しており、今後、施設の設備の耐用年数が経過してくるため、適切な点検・更新を進めていく。

全体総括

経費の回収は使用料収入で賄うことが出来ず、一般会計からの繰入金に頼っている状況であり、使用料単価の改定など、経営基盤の強化を図る必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。